

脊髄損傷者の運動機能の回復を促進する、負担の少ない神経刺激法の開発

東京都医学総合研究所 脳機能再建プロジェクト

外科手術ができず治療を諦めていた脊髄損傷者に対する新たな治療法として、運動機能の回復を目指しています

- 従来、脊髄の機能回復のため、外科手術で体内に電極を埋め込む処置を行ってきたが、外科手術を望まない患者や合併症等で手術できない患者には実施困難
- 今回の研究で、効果的な神経刺激方法等を解明、磁気を活用した脱着可能な装置を開発し、脊髄損傷者が手を握ると歩くような運動を誘発する方法を開発
- この治療法により、外科手術を伴わずに機能回復に向けたリハビリを行うことが可能
- 治療をあきらめていた脊髄損傷者にも将来的には新たな治療方法を提供可能に

治療の流れ(イメージ)

